

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和6年度 九州管内交通円滑化分析検討業務
業 務 概 要	交通状況の整理・分析 1式 ネットワークの階層に応じた道路サービスレベルの向上に向けた検討 1式 オーバーツーリズム対策に向けた検討 1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 森田 康夫 福岡市博多区博多駅東2-10-7
契 約 年 月 日	令和 6年11月29日
契 約 業 者 名	(株)建設技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契 約 金 額	14,982,000円(税込み)
予 定 価 格	14,982,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	九州地方整備局管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 6年11月30日
履 行 期 間 (至)	令和 7年 8月20日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和6年度九州管内交通円滑化分析検討業務
2. 履行場所 九州地方整備局管内
3. 契約の相手方 住 所：福岡市中央区大名 2-4-12 CTI 福岡ビル
会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社
電 話： 092-714-2211
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、九州管内の道路渋滞状況における問題点や地域の課題整理を行うため、道路交通データ（交通量、プローブデータ等）を集計・整理するとともに、それらのデータを用いて今後、九州管内における効果的な渋滞対策を実施できるよう分析を行う業務である。

2) 業務の内容

1. 計画準備
2. 交通状況の整理・分析
3. ネットワークの階層に応じた道路サービスレベルの向上に向けた検討
4. オーバーツーリズム対策に向けた検討
5. 報告書作成

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を27者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマ「観光渋滞対策を実施するうえでの有効な指標及び手法を検討するにあたっての留意点」に係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容が的確に記載されていること、「実施手順」における実施フローの工夫が記載されていること、及び評価テーマの「観光渋滞対策を実施するうえでの有効な指標及び手法を検討するにあたっての留意点」に対する技術提案について、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理され、提案内容を裏付ける業務実績が十分に示されており、総合的に最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)
道路部 道路計画第一課長